

2021年度 福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所防災訓練(9/10)における
改善事項について(案)

2021年9月10日に実施した福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所防災訓練時において、以下の改善事項を抽出した。抽出された内容に対し、改善に向けた取組みを検討する。

【抽出された内容】

No	改善内容	改善点	備考
①	【1F】 通報文の訂正報に係るガイドの修正	社内ガイドで示されている訂正報の作成に関する記述を分かりやすい表現に修正する。	
②	【2F】(さらなる改善点) オフサイトを意識した情報発信の実施	オフサイトへの情報提供を意識して、発話ルール及び資料の説明方法を改善する。	
③	【本社】 本社代替通報の運用見直し	「通報連絡確認表」を用いて通報文の記載内容をチェックする。 最新版の通報文テンプレートの保存場所のガイドへ記載するとともに班内に周知する。	
④	【本社】 ERC 説明資料の配布頻度の見直し	現状、COP の更新の都度(15分ごと)ERCプラント班内に資料を配布しているが、説明に使用する資料のみを配布することへ変更する。	

抽出された更なる改善事項について、No.3については、2021年度の柏崎刈羽原子力防災訓練時において改善状況を確認するとともに、その他については、来年度の緊急時演習にて確認する。

No.1:訂正報に係るチェック項目の見直し【1F】 (意見抽出箇所:ERCパンチリスト, 社内評価者)

(1) 問題点

訓練初動時、発電所の体制が整うまでの間、本社情報班が代替で作成した通報文の訂正報に誤りがあった。

(2) 課題

通報文の訂正報は、通報番号を新たに取得せずと同じ通報番号で作成する必要があった。しかしながら、本社情報班は新たに通報番号を取得した訂正報を発信した。

(3) 原因

「事故時の通報連絡に関する共通ガイド」の訂正報の作成方法が分かりにくい記述となっていたため、新たに通報番号を取得して訂正報を発信してしまった。

<事故時の通報連絡に関する共通ガイドの通報文の訂正に関する記述>

○新たにナンバリングする(例:第4報で訂正が必要な通報があり、その段階で第8報まで発信

していた場合は、第9報として発信)

※福島第一では、通報文の訂正時は新たにナンバリングせず、改訂する運用が定着しているため、現在の運用を許容する。

(4) 対策

「事故時の通報連絡に関する共通ガイド」の訂正報の作成に関する記述を分かりやすい表現に修正する。

No.2(さらなる改善点)オフサイトを意識した情報発信の実施【2F】(意見抽出箇所:ERC パンチリスト, 社内評価者)

(1) 課題

事態収束に向けた発電所内の情報共有という観点では十分な対応が行えているが、オフサイトへの住民防護に資する情報提供を意識した対応についてはさらに検討する必要がある。

(2) 原因

現状、発電所では事態収束に向けた練度向上に注力していたため、オフサイトセンター等の発電所外での活動を意識した発話ルールや説明方法が実施されていない。

(3) 対策

オフサイトへの情報提供を意識した発話ルールや説明方法に改善し、繰り返し訓練を実施していく。

No.3:本社代替通報の運用見直し【本社】(意見抽出箇所:ERC パンチリスト, 社内評価者)

(1) 問題点

本社から代替通報を行った通報文の第1報(AL地震)が正確性を欠いた通報文になっていた。

- a. 「想定される原因」欄の記載がなかった。
- b. 「その他警戒事態該当事象の把握に参考となる情報」に「地震の影響なし」と記載してしまった。

(2) 課題

発電所で通報文を作成・発信できない場合は、発電所通報班からの依頼を受けて本社情報班が通報連絡する運用となっている。その際に、本社情報班は、発電所通報班と同等な方法で通報連絡を行う必要があった。

(3) 原因

- a. 通報文をチェックする際にチェックシートを用いていないため、「想定される原因」の記載がないことを確認できなかった。
- b. 「地震の影響なし」の記載が残った古いAL地震のテンプレートを使用してしまった。

(4) 対策

- a. 福島第一原子力発電所の通報班が使用している「通報連絡確認表」を用いて通報文の記載内容をチェックする。
- b. 福島第一原子力発電所の通報班が使用している通報文テンプレートの保存場所を本社情報班ガイドに記載するとともに本社情報班内で周知する。

No.4:ERC 説明資料の配布頻度の見直し【本社】(意見抽出箇所:ERC パンチリスト, 社内評価者)

(1) 問題

ERC プラント班へ、COP 更新の都度(15分ごと)資料を配布しているが、説明に使用しないものが多く、加えて、説明時に手書きで修正した内容が次の配布されたCOPに反映されていないことがあった。

(2) 課題

ERC プラント班へ書面に投影し説明する資料と、配布される最新の資料が同じものであるべき。

(3)原因

リエゾンへ資料を送る班と、説明を実施する班が別であり、説明に使用する、しないの精査がされていない。

(4)対策

リエゾンと即応センター(官庁連絡班)で、説明に使用する資料を確認し、説明に使用する資料のみ配布する運用へ変更する。

以上